

議題：児童低学年アトリエクラスについて

浦田さんより、資料の読み上げ。

高学年になるにつれ生徒数が減少する傾向にあります。授業が合わない、ついていけないからとセンターを辞めることなく、継続し長く勉強できる環境を提供できないか。センター以外に行き場のない生徒や保護者の希望や受け皿となる新しいクラスの設置を提案します。これは現センターには存在しない環境ですが、今後センターが継続することによってさらに生徒や需要も多様化すること、また2世3世の方の参加も増えていくなどを考慮すると、必要不可欠になるクラスだと思われます。センターの保護者義務にあるように、家庭やクラス内での保護者の協力が有ることを前提にし、2017年度4月から現在の児童1.2.3の希望者対象に児童低学年アトリエクラスをトライアルとして設置することの承認を得たいと思います。

今回、先生方、保護者の反対意見、該当保護者の意見をもとに資料を作成しております。

皆さん読んでいただけましたでしょうか？資料を読んでいただいた上で最終的に承認するかしないか決めていただきたいと思います

なぜこんなに早いスピードで承認を得たいか？

学力や学力の差の問題はセンターが長年抱えてきた問題の一つです。現時点では、同じクラスを数回繰り返すかもしくは自主退講という形になっています。現在のカリキュラムは5.6年前に多数決によって確定されたものです。けて皆さん全員が賛成されたわけではありません。賛成が多かったため（需要があった）のでカリキュラムが設置されました。今回提案してるアトリエクラスは需要があります、センターは需要に対して供給することが大事なのかなと思います。その時代とニーズに合わせて、センターも形を変えていかないといけないと思います。今だけを考えて動くより、今後のこと（保護者が求めるゴールの違い）を共存できるセンターであってほしいと思います。

あと1年かけて、煮詰めて作ることも考えておりましたが、11月の1時間トライアルからでた課題、対応策、また仮定して、今後起こりうる課題と対応策を練っておりますが、次のステップとしては2時間のトライアルで得る情報が必要です。今回のトライアルで、該当保護者や先生方からトライアルは年度が始まってからするのは子供や先生の授業の準備などに負担がかかるので辞めてほしいと意見がありました。そうすると4月開講時からのトライアルが必要です。また、該当保護者の方のなかでも、継続を断念する方向で考えられていることから、同じ状況ですすめていくことが難しくなります。また振り出しに戻って行くことを、懸念しております。生徒によってはご家庭のサポートがあっても現在のカリキュラムについていくことに限界があります。現カリキュラムに物足りないと思うお子さんもいます。大多数の生徒が現在のカリキュラムでよいと思っているのに、カリキュラムを大きく変えることはできません。

子供たちは出来る限り現在のカリキュラム（通常クラス）でがんばってほしい、そのために先生方努力をされていることはアトリエ保護者も全体保護者も感謝していると思います。

アトリエを希望する子供たちが日本語の勉強をしたくないということだったら、仕方ないと思います。しかし勉強したいと思っている子供たちが続ける場所が今センターに存在しません。現在アトリエクラスを希望されてるお子さんの中にはすでに同じ学年を2度されているお子さんもいます。

今回は1クラスできるくらいの需要があります。10名の生徒がトライアルをしてみたいと思っています。その状況を考慮してトライアルを認めていただければと思います。今後独立するにしろ、管轄をかえるにしろ、サークル活動にするにしろ、その土台になるもの（トライアル）は必要です。

お知らせメールの添付ファイルを読んできてくれている保護者挙手、5割位。

【意見交換】

保護者：来年度、アトリエクラスが設置され、さらに児童3が2クラスになれば先生の確保が必要なのではないか？

役員：現時点では、アトリエクラスの先生確保は考慮せずに、進めている。

改善：アトリエクラスは、朝の会で承認が取れなければ、先生の公募ができない。

保護者：アトリエクラスを作ることによって、1クラスの人数が多くなるのでは？

改善：確かにそうだが、アトリエクラス希望の子供は、アトリエクラスが実現しなければ、来年度辞めていく子供たちだ。

保護者：先生は決まっているのか？

役員：来年度、児童1（3クラス）児童2（2クラス）児童3（2クラス）の先生の確保はすでにできている。

改善：アトリエクラスが設立した場合、児童1から4人、児童2から4人、児童3から2人、合計10人が現在希望している。

保護者：他の学年を考えて行く場合、児童3の2人は、次の年はどうするのか？

改善：今後も検討していく予定。もし、クラスがなければ、残る予定はない。

役員：もし、アトリエクラスが設立することになった場合は、新児童2は1クラスになるかもしれない。現在は、アトリエクラスなしと考えて先生の割当を考えているので、設立が決まると、現在の状況が白紙になってしまう。

改善：児童1の2人が、現在、迷っている段階で、設立が決まればアトリエクラスに入るかもしれない。

保護者：先生方の反対が多いと聞いているが、役員さんに先生方がどのように考えているのか、率直な意見が聞きたい。

役員：先生方は、アトリエクラス設立に反対はしているが、設立案には理解している。

先生を誰がするのか、行事係との兼ね合いなど、決まっていないことが多いので、賛成できない。

保護者：先生が反対なのはわかるけれど、先生の都合でいうのは違うと思う。

アトリエクラスに入りたい子は、本当に行き場がなく、迷ってしまう。そういう子を助けてあげたいと思う。

保護者：センターの主旨を考えたとき、「日本語教育とは違う国語の基礎を学ぶ」と決めたが、当時の役員さんも悩んでいて、センターは何でもありなので、主旨を決められないというので、否定形で書いたらどうか、「国語の授業だけはしません」とアドバイスをした。要するに、国語の教科書だけを使って学ぶ授業はしませんということ。

日本語教育とは、生活に使う日本語を学ぶところとして提供すること。

なぜ、センターにお子さんを通わせているのか、もう一度、センターの主旨に戻る必要があるのではないかと思う。

保護者：日本語教育に関して、幼児クラスは、それでいいと思う。小学生になると、ある程度のことばや漢字を知らないと、会話ができなくなるので、アトリエクラスを作って、縦割りにして、レベルの差を縮めていくのはいいが、できない子だけを救うクラス、つまり、センターでどうこうするのはどうかと思う。家庭でのサポートが前提なので、そちらのほうが大事と思う。

改善：アトリエ保護者は、家でのサポートをとともがんばっているし、家でも日本語を話している。先生方に、レベル分けクラスを提案したが、反対された。

中間層の子供たちの割り振りが難しいのと、下のレベルに入った子のやる気が無くなるのではないかということ。

保護者：縦割りで、2,3 学年一緒にして、

- ① 読み書きはしたいが補習校レベルまでいかないクラス
- ② 普通のクラス
- ③ 話にチカラを入れるクラス、ただし、日本語のみの授業

こういうクラス分けはどうか。

保護者：続けていくのは難しいが、アトリエクラスじゃなくても、家でのサポートを続けていけばいいのでは。

保護者：伸びたい子は、家でもやっているけれど、ついていけない子のサポートであればアトリエクラスは賛成である。

保護者：高学年のお子さんの保護者から聞く話だが、現地校の宿題が多くなり、日本語に費やす時間がなくなってくる。だけど、なるべく続けていく、続けたい子供たちのためにもアトリエクラスを作っていくのは良いと思う。

改善：これは、何十年も問題になってきたことで、今回 11 月にトライアルして、多くの意見をまとめてきましたし、出せる情報も全て出してきた。ここで決議を取りたい。

保護者：予算的なことはどうなるのか、先生を雇うにしても謝礼金が発生する。役員の中では、アトリエクラスを考慮せずに来年度の計画を立てているようだが、値上がりはあるのか？

役員：授業料の値上がりはなし、教室も1室空いている、児童2が1クラスになるので、予算的にも問題なし。

保護者：となると、もしかしたら、2階、3階を借りなくても、3階、4階で足りるのでは？

役員：生徒数、クラス数にもよりますが、3,4年は、まだ2階、3階を借りることになると思う。

保護者：アトリエクラスがあるために、2階、3階を借りないといけなくなる場合は、賃貸料が高くなるからそれはどうかと。3階、4階であれば、安くなるので。今、承認されてしまうと、今後の予算組に当たり前に組み込まれてしまう。この先、予見される情報をもっとあげてもらわないと、正しい判断ができない。

保護者：アトリエクラスができることによって、継続する子供たちの収入が増えるのでは？

保護者：アトリエクラスが何人いるとか1クラスというのではなく、先生を雇うだけでも、謝礼金が発生してくるので、コストは上がるだろう。もともと2クラスある内の一つがアトリエクラスになるならコストはかからないが、1つ増えるのなら、コストも上がる。

保護者：細かい部分を言っているが、今回は、率直な意見を聞きただけなので、承認が取れないと先生も探せない。アトリエクラスが理由での値上げは許されないのはわかっていること。

保護者：児童クラス3人なのはOKで、なぜ、アトリエだとダメなのか。

→先生を削ったり、また戻したりするのはできないので、クラスをなくすことができなかつたため。中高等部との合併案も出たが、主に先生と当時の役員に反対された。今は3人だけど、元はもう少しいて、だんだん辞めていっただけ。

改善：今回は、あくまでトライアルのための承認。その後は、また役員さん、先生方、保護者と相談、話し合いを進めていく予定。

賛成・反対・分からないの3択で投票

結果：賛成 83票 反対 22票 分からない 15票

よって、来年度のアトリエクラスのトライアルが承認される。

大多数が賛成とのことで、今後アトリエクラス トライアルをする方向で進めていきます。